

音楽に愛着を持つためのアプリ

Smartphone Application for Creating an Attachment to Music

坂本舞, 吉岡聖美: 明星大学

kiyomi.yoshioka@design.meisei-u.ac.jp

Abstract

音楽聴取の媒体が多様化し、手軽に音楽を聞くことができるようになっている一方で、音楽を長期間繰り返し聴いて楽しむことが少なくなっている。本研究では、音楽の聴き方に関するアンケート調査を実施し、音楽を聴いたときの気持ちがお気に入りになることに関係していると考えられる結果が得られた。そこで、音楽を聴いたときの気持ちを5種類のスタンプで記録することができるアプリ「Music Feelings Log」を提案する。曲を知った経緯や好きな理由などを書き込めるコメント機能も備えている。気持ちを記録して可視化することによって、音楽に対する愛着に繋がる可能性があると考える。

Key Word: Music, Smartphone Application, Creating an Attachment

1. 研究の背景と目的

近年、音楽を聞く媒体が多様化し音楽ストリーミングサービスやYouTube等で多くの曲を手軽に聞くことができるようになった。一方で、有料聴取層は減少し、音楽への無関心層が増加傾向にある。多くの曲を聴いていくうちに、アルバムを繰り返し聴くことや曲を理解しようとする気持ちが薄れないと感じられる。インターネットを利用した音楽聴取では、手軽に音楽を聞くことができる一方で、愛着を持って同じ音楽を繰り返し楽しむことが減っている。そのため、本研究では、音楽聴取の手段と変化について調査し、音楽に対する愛着を促すためのアプリを提案する。

2. 音楽聴取の手段と変化

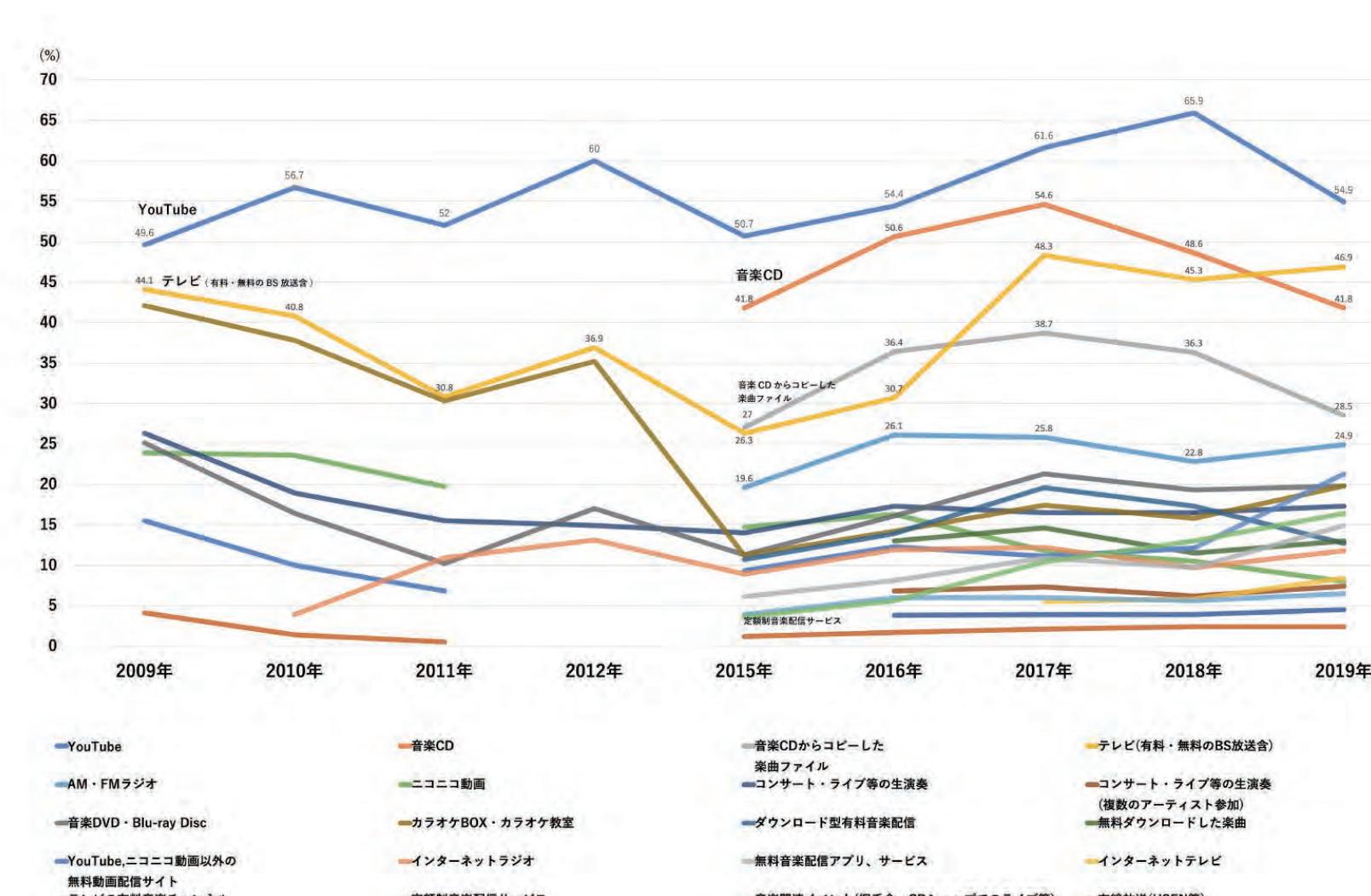


図1 主な音楽聴取手段の推移

一般社団法人日本レコード協会が調査した「音楽メディアユーザー実態調査」における2009年から2019年までの主な音楽聴取手段の利用率では、全ての年でYouTubeが最も利用されている手段となっている(図1)。定額制音楽配信サービスは、全体で見ると割合は少ないが年々利用率の増加が示されている。これらの調査結果から、YouTubeなどの無料音楽配信アプリや定額制音楽配信サービスといった時間を選ばず手軽に、また、能動的に繰り返し聴くことができる媒体が、音楽に対する愛着の創出に関係するデザイン提案の鍵になると考えられる。

3. 音楽の聴き方に関するアンケート調査

3.1 調査方法

10代から70代の男女101人を対象として、「音楽を聞く時に最も利用する手段」「新たな曲やアーティストを知るきっかけ」「お気に入りの曲ができるきっかけ」など、音楽の聴き方に関するアンケート調査を実施した。

3.2 結果と考察

アンケート調査の結果を回答数の多かった10代、20代、50代で比較した。「音楽を聞く時に最も利用する手段」として、10代と20代は定額制音楽配信サービスやYouTubeで音楽を聞く人が多く、50代はCDからスマートフォンなどの端末に入れて聴く人が多いことがわかった(図2)。また、「新たな曲やアーティストを

知るきっかけ」では、10代と20代はYouTubeやSNSが多いが、50代はテレビから知ることが圧倒的に多いことがわかった(図3)。「お気に入りの曲ができるきっかけ」については、年代に関係なく、個人の気持ちや好みによるもの、ドラマ・アニメ・CMの音楽から、繰り返し聴いているうちに、YouTubeのおすすめ、歌詞、リズム、等が挙げられた。これらの結果から、お気に入りの曲ができるきっかけは人によって違っていても、個人の気持ちや好みに合うことでお気に入りの曲ができると考えられる。音楽を聴いたときの気持ちを思い出すきっかけがあれば、またその音楽を聴きたいと思うのではないかと考えられる。

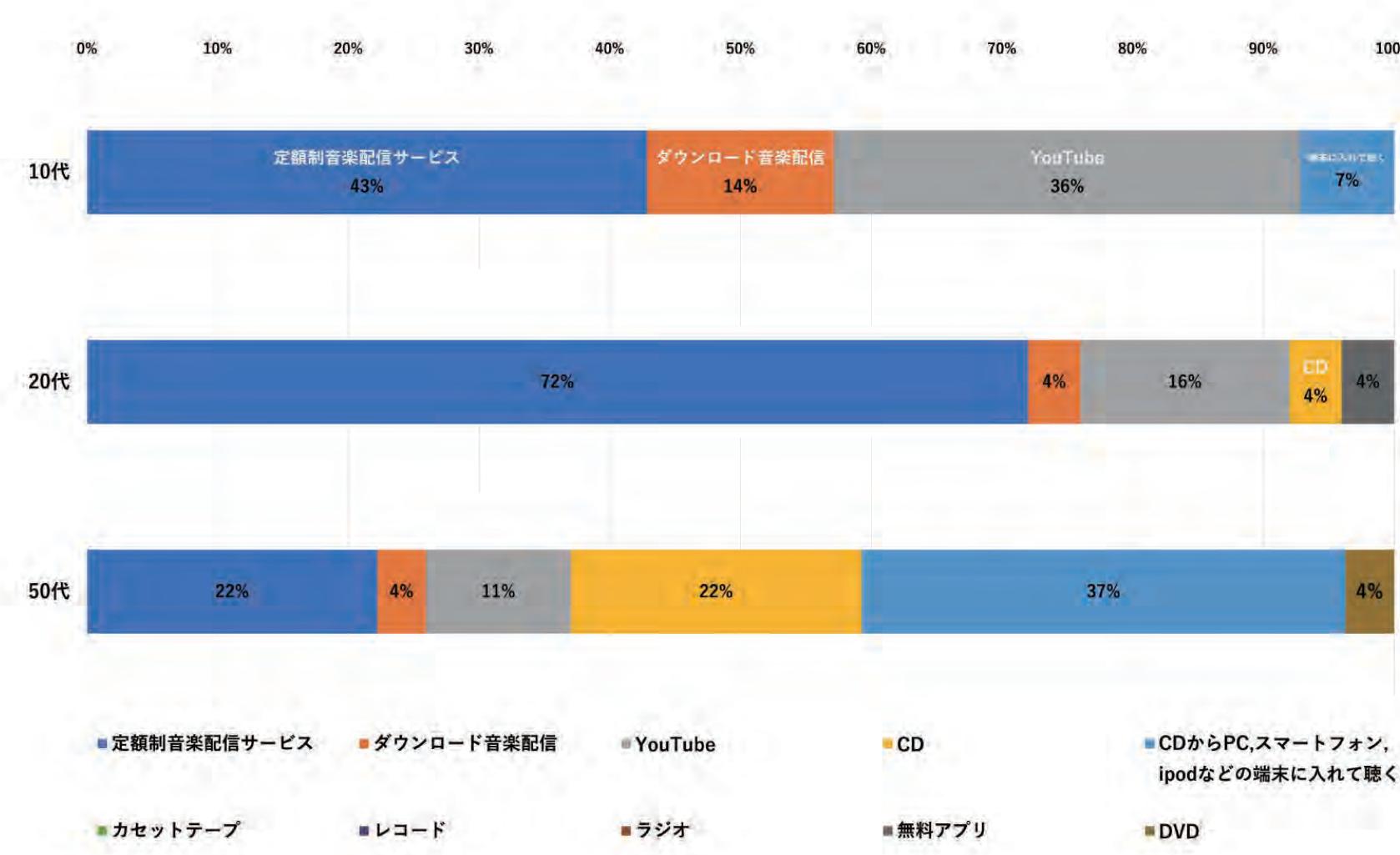


図2 音楽を聞くときに最も利用する手段

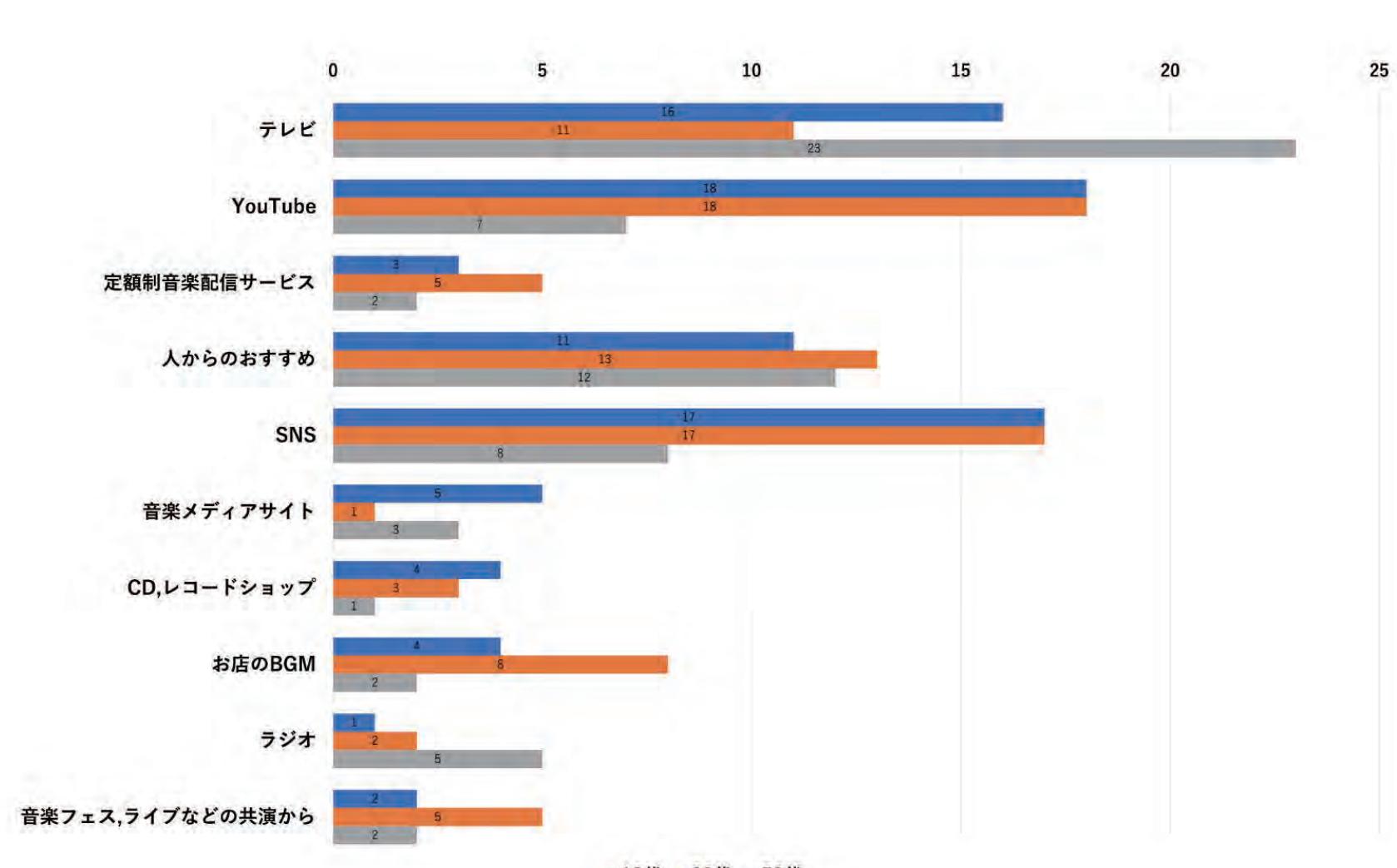


図3 新たな曲やアーティストを知るきっかけ

4. 音楽に愛着を持つためのアプリの提案

音楽聴取の手段と変化、および、音楽の聴き方に関するアンケート調査の結果に基づき、音楽に対する愛着を促すためのツールとして、音楽を聴いたときの気持ちを記録するアプリ「Music Feelings Log」を提案する。アンケート調査の結果から、音楽を聴いたときの気持ちがお気に入りになることに関係していると考えられ、気持ちを記録して可視化することが音楽に対する愛着に繋がる可能性があると考える。

4.1 アプリの機能とデザイン

4.1.1 気持ちスタンプ

アプリは、近年利用率の増加が示されている定額制音楽配信サービスと連携させる。音楽を聴いて感じた気持ちをスタンプで記録することができ、音楽を聞く度にスタンプを押すことで気持ちの記録を蓄積していくため、過去に感じた気持ちを振り返ることができる(図4)。

持ちスタンプは「楽しい・嬉しい」「落ち着く」「落ち込む」「悲しい」「頑張る・元気が出る」の5種類である(図5)。



図4 アプリのインターフェイス



図5 気持ちスタンプ

4.1.2 コメント機能

アンケート調査で得られた回答から、人からのおすすめが新たな曲やアーティストを知るきっかけになっていることがわかった。そのため、曲を知った経緯や好きな理由などをコメントとして記録し、後で振り返ができる機能を加える。



図7 コメント機能のイメージ

5.まとめ

音楽を聴いたときの気持ちが、音楽を長く繰り返し楽しむ気持ちに関係していると考えられる調査結果が得られた。これにより、気持ちを記録して可視化するアプリ「Music Feelings Log」を用いることによって、音楽に対する愛着に繋がる可能性があると考える。今後、実際にアプリを使用してもらって、その効果を評価したいと考える。

参考文献

- 「音楽メディアユーザー実態調査」、一般社団法人日本レコード協会